

「始まり」

始まりは去年の冬でした。  
「こけら落としに誰を呼ぶのか?500席のチケットが果たして売れるのか?ポスターは?チラシは?広報活動は?」ボランティアスタッフとして集まったメンバーのほとんどが未経験の主婦。売りにできるのは「当たって砕ける!」のガンバリパワーと、長年培ってきた主婦ならではの気配り。そして「皆さんに喜んで帰って頂きたい」という熱い思い。そして不安満載のまま「夢発信」号が船出していったのです。希望は、どんな時でも笑顔絶やさずことのない委員長の「大丈夫!」の一言でした。いよいよオープニングからこけら落としへ。その間、エクラに足を運んで下さった方々から、たくさんの嬉しい言葉を頂くことができました。私たちスタッフは皆さんの声に励まされ、嵐のような時間を乗り越えることができました。本当にありがとうございました。これからも市民の皆さんとともに、輝きのあるエクラホールを創っていきたくと思っています。



●コンサートに参加した高校生にマイクをむける服部先生

「梯さんとの7日間」

「小野市が僕の第三の故郷になりました。来年もぜひ又呼んで下さい」  
コンサートの翌日、宿泊先のホテルへ見送りに行った夢発信のスタッフに、梯さんはその言葉を残して帰っていかれたのです。

毎朝10時から午後7時まで、エクラホールでの練習がピアニストの日課でした。私達は「おはようございます」とホールに着かれた時から「お疲れさまでした」とタクシーに乗られるまで、ご不便のないように待機していました。毎がお好きと聞けば、毎朝摘みたてをお届けし、家には日替わりの野の花を。お水は常温という注文に走り回り、楽譜や毛布も調達。そして休憩の午後2時になると、近所の食堂で一緒にうどんをすすりながらいろいろなお話を聞かせて頂いたのです。

「エクラのために選んだスタインウェイがいいピアノで良かった。このホールに合うか、心配していたのです。」ほっとしたように話されたのが印象的でした。食事が終わるとお母様とお二人で手をつなぎながら散歩されていました。そして午後の練習が始まるや、一言たりとも妥協を許さない厳しさに向き合うお二人の姿がありました。



●橋本之さん サイン会の様子

そして29日。満席のエクラホールに梯さんのピアノの音が響くや、誰もがその繊細でやわらかな響きにひきこまれていったのです。人の心を打つ演奏でした。その幸福感は5曲のアンコールで最高潮に。5曲目は予定外でもあり、ほとんど異例のことだったらしいのですが、お母様の制止を振り切って会場の拍手に応じて下さったのです。カーテンコールの度、左手、中央、右手へと何度も深々と頭を下げられた姿に涙ぐまれた方も多かったのでは。梯さんからの、この上もない贈り物でした。

「僕、感動しました!」

クラシックだけでなく、市民の皆さんに幅広く楽しんで頂けるよう演劇を企画した際、何がいいのか、真剣に悩みました。あちこちの劇場を見て歩いた結果、一番感動したのが関西芸術座の「少年H」だったのです。原作はベストセラーになった、妹尾河童さんの実体験を元にした神戸大空襲の話です。私たちは自信をもって、準備していききました。ところがチケットがさっぱり売れないのです。なぜ?中学2年の国語の教科書にも取り上げられていると知り、小野市の中学校にチラシを配布して頂くよう全校まわりました。それでも500の座席が埋まりません。

そして当日。エクラホールにたくさんの中学生の姿があり、わたしたちはその汗の匂いや若さというオーラを感じながら、舞台から発する戦争という時間を共有することができたのです。終わった時、屏から出てきた一人の中学生ボランティアスタッフが手を振るなり「ありがとう。感動しました」と言ってくれたのです。それから涙ぐみ上気した顔、顔、顔。

「昔があるから今があると思った。昔の人に感謝したい」

中学生が書いたアンケートを読み、「この瞬間があるから、ボランティアの苦労があったんだ」と。生の舞台の威力をあらためて感じた日でもありました。



●トライやるウィークの中学生もチケットもぎりに参加しました。

「地元出身チェリストに暖かいエール!」

6月5日、滝野町出身・池村佳子チェロリサイタルはお喋りを混じえながらの演奏に、客席と一体感を生むアットホームな空気に包まれていきました。

アンケートの回収率が48%という数字もさることながら、「とても良かった」という大多数の声からも、すばらしいリサイタルであったことが伺えると思います。

「チェロの音色に魅了されました。とても良い気分になりました」「演奏が素晴らしいのはもちろんのこと、地元出身ということで親近感がわきました」「池村さんの優美なる音色に一層チェロが好きになりました」他にも「音響効果がとてもいい」「解放感のあるとてもきれいなホール」「座席が広く、座りこころがいい」から「エクラが出来てうれしい」「小野市がうらやましい」という有り難いお言葉まで頂きました。

そして、今回のリサイタルの為に、池村さん自ら滝野町長を表敬訪問された際、「是非、滝野でもチェロリサイタルを」と文化の輪が広がり、さらに各新聞社の記者も何度か記事を書き応援して下さいました。



●池村佳子さんと夢発信委員会

夢発信の企画から始まった思わぬ夢の広がりに、池村さんからも熱いメッセージが届きました。

「今回のリサイタルは私にとって、生き方を考えたり、いろんな面で勉強する大変良い機会となりました。このような経験を与えて下さった皆様にも心よりの感謝を申し上げます。」

団体会員紹介

Introduction of member of group

何度かにわけてksks Archeの団体会員さんのご紹介をさせていただきます。(登場する順番は不同です。)

三木市老人会連合会女性部  
パールみっきい

～音の宅配便お届けします～

ハンドベルをヒントに造られた癒し系の優しい音色が特徴の楽器クアアチャイムを、マンネリ化した老人会活動の一新と活性化を図るために取り入れました。シルバー世代ですが、パールの如く輝いていたいと月2回の練習にも力が入ります。やりがいを通して地域へ貢献していきたいと思う気持ちと、仲間と共に学ぶ協働意識も手伝って上達しました。「音楽は贅沢なモノだった」「ドレミをハニホヘで習った」と、時代を振り返りますが、眠っていた音への感性が蘇り、意欲も湧いて自分達は今輝いているという実感を楽しむことが生き甲斐にもつながっているようです。幼稚園や保育園にも積極的に出向き、子供達から観くエネルギーは何よりの宝物となります。

今ではあちこちの大舞台でもお声がかかり、ksks Archeにも団体登録しました。また、エクラのハートフルサロンコンサートで癒しの音楽をお届けしたいと思います。自分たちの努力と向上心で地域に貢献している喜びが自信に繋がり、舞台上立つ緊張感も心地よい刺激となってより一層美しく輝いています。



特定非営利活動法人  
あい・きゅーびっく

少子高齢化が進むなか、都市部・農村部を問わず地域住民の交流機会が少なくなり地縁・血縁関係も希薄化する傾向になりつつあります。特に、介護を必要とする高齢者は、外出や交流の機会が限られるため、相談事や援助が必要な場合にもうまく伝えることができないままに孤立化してしまう。また、児童や障害者も様々は困難や悩み事があっても、家族や身近な人以外には伝えることができず、思いを閉じ込めてしまい結果的にストレスを感じてしまうことになってしまうのではないのでしょうか。

「NPO法人あい・きゅーびっく」では「であい」「ふれあい」「たすけあい」この3つの「あい」で点や線ではなく立体的(cubic)にサポートさせていただき精神的に孤立しやすい高齢者や児童や障害者のひとり一人のニーズにあった新しい福祉サービスを提供していきたいと考えて活動しております。具体的には下記の事業内容です。

- ① 高齢者、障害者の方への福祉に関する相談・援助  
※ 介護や福祉用具の相談、介護教室の開催等
- ② 福祉用具レンタル・販売  
※ 要介護認定者以外の方や障害者の方に対する中古福祉用具等の安価な提供サービス等
- ③ 居宅介護支援事業の運営(平成17年秋頃にサービス開始予定)  
※ 介護認定の申請代行やケアプランの作成およびサービス提供の支援等
- ④ 音楽を通じての福祉活動  
※ 児童や高齢者への音楽療法や音楽コンサートの運営企画等

最近の活動としては、平成17年度県立音・豊・養護学校における「ふるさと文化いきいき教室」事業の一環として、去る7月2日、小野市うるおい交流館エクラにおいて、音楽療法士の中村先生をお迎えして、県内の養護学校の生徒さんと保護者の方と楽器を使った参加型音楽療法の開催を企画・運営させていただきました。

当法人は平成12年度より活動しておりますが、神戸市中央区に事務所をおき今年4月1日に設立したばかりの法人です。まだまだ、勉強中の法人ですが、NPO法人北播磨市民活動支援センターの団体会員として他の団体様の御指導を仰ぎながら、「新しいであい」があり、そこから始まるふれあいを大切に、福祉を通じて助け合える活動」で地域社会に貢献できる団体を目指す所存です。どうぞよろしく申し上げます。

裏播州鬼ほおすき灯

年々、いきおいを増す小野まつり、おの恋おどり。

本年度はついに参加チーム数が、県下最大の祭りとなりました。そんなおの恋おどりのオフィシャルチームとして昨年より活動して、はかりしれない重責にもがきながら今年オープンした、小野市うるおい交流館エクラ内にある北播磨市民活動支援センターの文字通りの支援をしていただいております。祭りにより多くの市民の方々に、踊り子として参加していただきたいとの思いは強く、北播磨を中心に意欲的に活動しております。

小野市を中心に北播磨全域から集まったメンバーも現在80名、これからも数多くの祭りイベントに参加し、より多くの方々によさこいのすばらしさを体感していただきたいと思っております。又、皆様の支援をばげみに演舞の向上にもつとめていきたいと思っております。

